

「生徒が輝く日本一の小規模校」を目指して 自立した社会人の基盤づくり～「夢」・「規律」・「感謝」～



平成26年度矢板市立泉中学校だより【第7号】

中学「し、ずみ」

■発行/平成26年7月11日(金)

校内合唱コンクール

7月5日(土)午前、「夏休み前PTA」に先駆けて「校内合唱コンクール」が行われ、体育館に泉中生の生き生きとした歌声が響き渡りました。

全てのクラスが、「持久力向上タイムで鍛えた体力、授業+朝・昼休み・放課後等の隙間時間を活用した熱心な取り組み、そしてクラスの団結力」を遺憾なく発揮し、ハイレベルなコンクールとなりました。各クラスの課題曲「翼をください」と自由曲、合唱部「光が」、3年の吉成加奈さん指揮による全校合唱「Let's Search For Tomorrow」等、たいへんきれいなハーモニーが続きました。

体力・学力を人格として統一するものが「美」、つまり美しさを追求する「芸術」です。校内合唱コンクールにおける生徒の真摯な演奏から、本校生の心の充実が伝わるすばらしい合唱コンクールでした。

審査の結果は以下のとおりです。

- 最優秀賞 2年1組 自由曲「HEIWAの鐘」
- 優秀賞 3年1組 自由曲「虹」
- 優良賞 2年2組 自由曲「今日から明日へ」・1年1組 自由曲「朝の風に」
- 指揮者賞 3年1組 森戸聖実 ■伴奏者賞 3年1組 渡邊千尋



2年生の職場体験

6月24日(火)～26日(木)の3日間、2年生が職場体験(キャリア・スタート・ウィーク)を実施しました。



職場体験は他校でも行いますが、本校の特色は「生徒の主体性の重視」にあります。

生徒が「自ら事業所を決め、自らアポイントを取る」ところから活動がスタート。事前打ち合わせを経て、メインとなる今回の職場体験。そして、その後の礼状作成と発送。これらを生徒が主体的に行います。

この一連の活動の実践と振り返りを通し、「主体的態度の重要性」・「将来の自己の在り方」・「社会人として必要な資質」等、「自己の生き方」を深めます。今後、学校生活のいろいろな場でこれらの貴重な体験を生かした実践が行われることを楽しみにしています。

以下の事業所の皆様には、お忙しい中大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

おおるりペットクリニック(2名)、(株)ポポンデッタ(1名)、塩谷病院(2名)、高橋スポーツ(4名)、きんたろう(2名)、宇都宮済生会病院(1名)、グランディール(1名)(有)ソリッド(1名)、矢板消防署(8名)、矢板図書館(3名)、ぴっころ保育園(2名)シャトレーゼさくら氏家店(2名)、シェレンバウム西那須野店(3名)、ベイシア矢板店(1名)矢板カントリークラブ(2名)、モンペリエ(西那須野ヨークベニマル)(1名)

駅伝部メンバー決定！

今年の地区駅伝に参加する駅伝部のメンバーが、下記のように決定しました。

今年の駅伝部は、学年始めのPTA・学校だよりNo.6・夏休み前PTA等でお伝えしているように、各部の活動の一環として位置づけました。そこで、夏休みからの練習を前に、各部指導者による選手選考会議を開きメンバーを下記のように決定しました。

選出された皆さんは各部の代表者としての誇りをもって練習に参加するとともに、大会ではチームとして全力を尽くし「泉中ここにあり」を示してくれるものと期待しています。

【選出された駅伝部メンバー】 ◎部長、○副部長

- 男子 3年 ○阿美悠太、片山順平、加藤 光、◎山口 輝
- 2年 荒井優輝、竹田綾介、東泉裕輝、菅野 潤、関谷佑樹、松平隆宣、村上和寿
- 1年 渡邊拓馬、渡邊 聡
- 女子 3年 ○阿美真衣、鈴木菜那、◎森戸聖実、吉成加奈
- 2年 佐藤璃和、矢板優実、山口凜奈、兼松侑那
- 1年 小川ひまり、尾崎伊織、神立美月

第4回校内長距離走大会の結果

小中一貫教育の具体策である「持久力向上」の実践、平成26年度第4回校内長距離走大会を6月30日(月)に実施しました。

◆H26 第4回校内長距離走大会入賞者一覧 6月30日(月)実施 ○自己新 △自己タイ

	男子 3,000m(ロードコース)			女子 2,000m(ロードコース)		
大会記録	2014. 1. 31	村上和寿	9分41秒	2013. 7. 12	工藤麻衣	8分02秒
1位	2年	村上和寿	9分54秒	3年	森戸聖実	○8分19秒
2位	2年	関谷佑樹	○10分33秒	2年	佐藤璃和	8分27秒
3位	2年	竹田綾介	10分52秒	2年	矢板優実	○8分30秒
4位	2年	松平隆宣	10分53秒	2年	山口凜奈	○8分34秒
5位	2年	荒井優輝	○11分23秒	3年	吉成加奈	8分47秒
6位	1年	渡邊 聡	○11分30秒	1年	小川ひまり	○8分57秒
7位	3年	加藤 光	11分32秒	3年	薄井美香	9分04秒
8位	2年	菅野 潤	11分44秒	3年	渡邊千尋	9分04秒

「道徳・人権コーナー」その2 人権に関する作文

「人権に関する作文」の募集が、今年も以下の2種類ほど学校にきました。紹介いたします。

主催	栃木県教育委員会(総務課人権教育室)	法務省+全国人権擁護委員連合会
名称	人権教育・啓発推進県民運動 人権に関する作文募集	全国中学生人権作文コンテスト 栃木県大会
応募規定	400字原稿用紙3~5枚 *学校名・学年・氏名・題名は除く	400字原稿用紙5枚以内 *学校名・学年・氏名・題名を除く
校内締切	8月26日(火)	8月26日(火)
その他	保護者の方の応募可	県内の中学校に在学する生徒

なお、テーマとしては以下のようなものが挙げられます。

- ①子ども(いじめ・児童虐待を含む)
- ②女性(男女共同参画社会等) ③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑥外国人の人権
- ⑦アイヌの人々 ⑧HIV感染者・ハンセン病患者及び元患者 ⑨犯罪被害者とその家族
- ⑩ホームレス ⑪インターネットによる人権侵害 ⑫刑を終えて出所した人々
- ⑬性同一性障害 ⑭性的指向にかかわる人権問題 ⑮北朝鮮当局による拉致問題
- ⑯戦争や平和 ⑰環境問題 ⑱プライバシー ⑲東日本大震災に起因する人権問題

<人権(ヒューマン・ライツ)とは>

私たちが、**社会生活において幸福な生活を営むためにどうしても必要な権利**のこと。

この権利は、日本国憲法によって、すべての国民に保障されている。

他人の基本的な人権をお互いに尊重しあうとともに、
自分たちの手で大切に守り育てていくことが大切。